

## —とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

### VII とやまの森づくり総合情報システム事業

趣旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

## ○平成30年度事業の実績

## (1) 森林GISシステムの運用

平成19年度に整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しました。

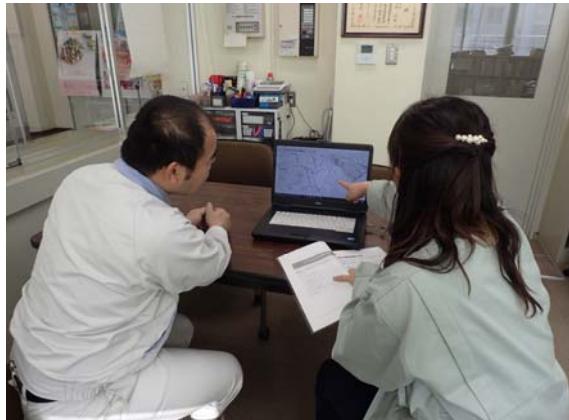
また、平成23年度に市町に導入した「森林GISシステム」により、水と緑の森づくり事業実施区域など様々な森林情報を共有しました。

## (2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業の情報をリアルタイムに紹介しました。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

## 森林GISシステム



市町と様々な森林情報を共有しました。

## 《事業実施状況の情報（里山再生整備事業地）》

里山再生整備事業 地区別実施調書					
No.	10	地名	赤土川上中島 地図		
<b>整備概要</b>					
式	人工作業	自然整備	その他	合計	
面積	4,850ha	730ha			
<b>整備目標</b>					
本事業は、里山再生整備事業として、森林資源の保全・再生・活性化を目的としたものである。主な整備目標は、以下の通りである。 （1）森林資源の保全・再生・活性化：里山の生態系を保護し、森林資源の再生を促進する。 （2）生物多様性の保全：里山の生物多様性を保護し、生物多様性の維持と増加を図る。 （3）森林資源の活性化：里山の森林資源を活用し、森林産業の活性化を図る。 （4）森林資源の保全・再生・活性化：里山の生態系を保護し、森林資源の再生を促進する。					
<b>整備実績</b>					
区分	内 容				
整備	里山再生整備事業として、里山の生態系を保護し、森林資源の再生を促進する。 （1）森林資源の保全・再生・活性化：里山の生態系を保護し、森林資源の再生を促進する。 （2）生物多様性の保全：里山の生物多様性を保護し、生物多様性の維持と増加を図る。 （3）森林資源の活性化：里山の森林資源を活用し、森林産業の活性化を図る。 （4）森林資源の保全・再生・活性化：里山の生態系を保護し、森林資源の再生を促進する。				
利用	里山再生整備事業として、里山の生態系を保護し、森林資源の再生を促進する。 （1）森林資源の保全・再生・活性化：里山の生態系を保護し、森林資源の再生を促進する。 （2）生物多様性の保全：里山の生物多様性を保護し、生物多様性の維持と増加を図る。 （3）森林資源の活性化：里山の森林資源を活用し、森林産業の活性化を図る。 （4）森林資源の保全・再生・活性化：里山の生態系を保護し、森林資源の再生を促進する。				
<b>年度別実績</b>					
年 度	計	1月	2月	3月	備 考
整備実績割合	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
整備実績割合	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
山 村 駅	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
総	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
の の じ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
整備実績割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
里山再生整備事業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



とやまの森づくりホームページ



水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行いました。